

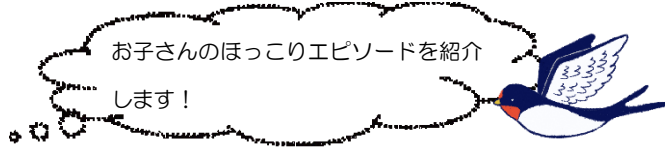


病児保育室 さいせいかいだより

令和8年5月 済生会新潟病院 病児保育室さいせいかい



明るく温かい日差しに恵まれて、気持ちの良い今日この頃です😊
新しい環境がはじまりました。お子さんの様子はいかがでしょうか？
お子さんが楽しく過ごせるように、体調には気を付けていきましょう(*^^*)



小さい時に利用していただいていた子が、時を経て大きくなって利用していただく機会に立ち会うと、お子さんの成長に驚かされます！表情やしぐさの中に《あのとき》の面影を感じながら当時の話にも花が咲きました(*^^*)

製作を提案すると、喜んで参加してくれるお子さんたち。ケーキを作ったり、指輪を作ったりしてくれます。作ったものを入れるための箱を渡すと箱にもデコレーションをしてくれて、みんなの表情もニコニコ(*^^*)ステキなプレゼントになりました！



事前登録お待ちしております

事前登録も**完全予約制**です。

持ち物は、こども医療費受給者証、母子健康手帳、マイナンバーカード+資格情報のお知らせ、または、資格確認書です。

お子さまが元気な時に！！ぜひ、ご登録をお願いします。

西区寺地 280-7 済生会新潟病院併設 ☎025-365-2432
利用日時： 月～金 7:30～18:30 (土日祝・年末年始はお休み)
※ご予約を当日にキャンセルされる場合は、7:30までに
キャンセル専用電話番号 025-378-2020 にご連絡ください。

ご予約についてのお願い

予約は**医師連絡票**を書いても
らってから、お電話での予約
をお願いします。



新潟市病児・病後児保育事業に
基づき、事業受託者が行う感染
症流行状況及び予防策等の情報
提供です。

小児科 Dr からおはなしポシエット

「食物アレルギーかな？どうか？」

この4月よりご入園されたお子様の保護者の方々にとっては、初めての社会的な生活を送るにあたって楽しみである一方、いろいろな心配事も出てくると思います。そのような園で生活する上で、関わりのある病気の一つとしてアレルギー疾患があげられます。

園児さんがかかるアレルギーの病気の中では、26年前に私が当院に勤務していた頃は気管支喘息が最も問題で、呼吸が苦しくなって入院治療が必要となる子どもが多い時代でした。しかし喘息に対する診療の進歩で入院するお子さんの数はかなり減りましたが、そのかわりに十数年前から園児さんの年代でもっとも問題となっているのが食物アレルギーです。

0歳の赤ちゃんは、ご存知のように生後6か月頃より離乳食を食べ始めますが、この離乳食を食べている頃に発症する食物アレルギーでは、その原因食物は卵、牛乳、小麦の3つがほとんどです。それらを含めてある食べ物を初めて食べた時、あるいは耳かき1杯程度ごくごく微量では大丈夫でしたが小さじ1杯などある程度の量を食べた時に発症するパターンが多いです。

食物アレルギーの症状では、もっとも多いものがじんましんや赤みやかゆみなど皮膚に出る症状です。皮膚の症状が出るまでの経過が上記のようなパターンに当てはまれば、それだけで診断を確定することができます。また食後に同じような皮膚の症状が出て、経過を詳しくお聞きすることで食物アレルギーではないとわかることもあります。

「食物アレルギーかな？」と思われたり、言われたりした際には、ご自身で判断されずにぜひ小児科を受診するようお願いいたします。



流行状況のお知らせ

下記：令和7年10月～令和8年3月のご利用者様の疾病の内訳

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アデノウイルス	6%	0%	0%	0%	3%	0%
溶連菌感染症	7%	4%	3%	45%	3%	4%
インフルエンザ	0%	48%	72%	37%	52%	56%
感染性胃腸炎	12%	9%	0%	4%	0%	6%
風邪様疾患	45%	31%	25%	7%	34%	30%
その他	30%	8%	0%	7%	8%	4%